

歌詞の表す気持ちを大切に合唱しよう

(5 時間扱い)

1. 題材のねらい

歌詞にこめられた気持ちを感じ取り，心をこめた歌い方を工夫する。

発声や呼吸の仕方に関心をもって，互いの声が響き合うように歌い方を工夫したり，みんなで声を合わせて歌う喜びを味わったりする。

2. 教材について

学習指導要領第 3，4 学年の内容との関連

(1) グッデー グッバイ 作詞 伊藤良一 / 作曲 内田正人

軽快な速度で歌われる明るい曲である。歌詞の内容も友への感謝，惜別の思いがさわやかに表現されている。この歌は歌詞から伝わってくる情感をとらえて，心をこめて歌うようにしたい。

曲想を生かした表現をするためにも，リズムや旋律の表現を中心に生き生きと歌うようにする。特に，明確な発音に気を付けて歌わないと，この曲は沈んだ感じになってしまうので，指導用の CD などを活用して，この歌の全体像をとらえるとともに，発音の仕方なども聴き取って模倣していくのもよいだろう。

(2) エール！！ 作詞 / 作曲 美鈴こゆき

平易な旋律，自分や友達を励ます歌詞の内容で，子どもたちが親しみやすい楽曲。」と♪の跳躍音と順次進行を繰り返しながら構成され，リズムカルな感じが特徴の前半部，曲想の変化が感じられレガートな気分を味わえる中半部，順次進行の旋律が次第に高まり，「ほら」の呼びかけの歌詞に向かい，歌詞と旋律のかかわりを楽しむことができる後半部と，曲想の変化もとらえやすい。

後半部の二部合唱では，斉唱から合唱への広がりを感じ取ったり，主旋律を生かしたバランスの取れた歌い方を工夫し合ったりすることもできる。学年の終了間近だったり卒業を前にしたりするこの時期の子どもたちが，様々な思い出をふりかえり，これからの自分や友達への応援歌として，歌詞の内容を生かした歌い方を工夫しながら，みんなで歌う喜びを味わいたい。

(3) ねえ 歌おう 作詞 / 作曲 中山 真理

前半の♪ ♪ のリズムにのせた歌詞とのかかわり，前半部の「ねえ，君歌おう」の呼びかけとともに変化する旋律，後半部の高声部の「歌おう」の呼びかけとともに低声部が主旋律となって歌詞の思いを歌う部分と，曲想の変化を感じ取りやすい曲の構成である。歌詞の表す気持ちも，4 年生の子供には内容が理解しやすいので歌詞と旋律のかかわりをとらえた歌い方を工夫していきたい。

3. 題材の評価規準

Aと判断する子どもの姿

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価規準	きれいで伸び伸びとした歌声にあこがれをもち、みんなと声を合わせて歌う喜びを味わったり、声の重なりに関心をもって、進んで歌ったりしようとしている。	楽曲の特徴や、歌声が重なる美しさに気付いて、歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫している。	歌詞と旋律やリズムとのかかわりをとらえながら、発音や呼吸に気を付けて響きのある声で歌っている。	歌声の響き合いのよさ、友達の表現のよさや美しさに気付いて聴いている。
学習活動 における 具体的 の評価規準	歌詞の内容を豊かに表現した範唱を聴いて、進んで歌唱表現しようとしている。 自分の思いが表現できるよう繰り返し歌おうとする姿勢 歌声を重ねて歌うことに興味をもって、進んで表現している。 積極的に旋律やリズムの反復や変化を感じ取って曲想表現	拍の流れを感じ取って、歌い方や身体表現の仕方を工夫している。 音楽の要素の感受や工夫 歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫している。 より響きのある美しい歌唱表現の追求 歌唱表現の豊かさや美しさを友達に教授	美しい歌唱表現を求め、呼吸や発音、音程などに気を付けて歌っている。 進んで友達の歌声に耳を傾け、みんなの声と合わせたり全体をまとめようとする態度 歌詞の内容を生かした豊かな表現を目指して歌っている。 表情豊かな歌い方 歌詞と旋律のかかわりをしっかりとらえて	旋律の特徴や、それらが重なり合う響きの美しさを感じ取って聴いている。 旋律の特徴や曲奏の変化を数多く記入 自分の言葉で気付いたことを発表 歌詞の内容をとらえた友達の歌い方のよいところを感じ取って聴いている。 曲想の特徴をとらえ、友達の演奏の工夫を感じ取って 歌詞の内容を豊かに表現したよさを見つけて

4. 指導と評価の計画（7時間扱い）

: 取り扱い項目

: 取り扱い重点項目

	主な学習内容	具体的 評価規準	指導要領 との 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	「グッデー グッバイ」 歌詞を生かした歌い方を工夫する。 ・歌詞を音読する。 ・範唱を聴きながら、歌詞に表された気持ちを感じ取って歌う。 ・発音や表情に気を付けて斉唱する。 リズムに乗った表現を工夫する。 ・曲の感じについて気付いたことを話し合う。 ・弾むような感じで歌う。 低声部を練習して、二部合唱の響きを味わう。 ・低声部を歌詞唱する。 ・二部合唱を楽しむ。	ア - イ -	A(2)ア A(2)イ					行動観察 歌唱聴取 学習カード 発言

2	<p>「エール！！」 曲の特徴を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて，曲のイメージをもつ。 ・ 歌詞の内容と旋律，リズムの特徴など，気づいたことを発表し合う。 <p>主旋律を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主旋律を歌詞唱する。 ・ 音程のとりにくい部分を階名唱する。 <p>歌詞の内容にふさわしい歌い方になるよう発声や呼吸の仕方を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 顔の表情に気を付けて歌う。 ・ 休符を含む旋律の歌い方を工夫する。 	ア -	A(2)ア			<p>行動観察 歌唱聴取 発表 学習カード 発言</p>
3	<p>「ねえ 歌おう」 歌詞の内容と旋律の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌うということはどういうことなのか，自分なりの感じ方で歌詞の意味を読み味わう。 ・ 歌詞の内容をさわやかに歌い上げている範唱を聴きながら歌う。 <p>歌詞の内容を生かして，主旋律を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発声や音程に気を付けながら，主旋律を“ラ”や“ル”で歌う。 ・ 範唱から気付いたことを発表し合い，自分たちの表現の仕方を工夫し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 拍の流れにのりながら，美しい歌声，発音や音程に気を付け，歌詞唱する。 	ア -	A(2)ア			<p>行動観察 歌唱聴取 発表 学習カード 発言</p>
4	<p>前時までに学習した三つの曲について，低声部を練習し，二部合唱の響きを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再度3曲を聴き，二部合唱の響き合いについて感じたことを学習カードに記入する。 ・ 順次下降音や跳躍音に気を付けて，全員で低声部を歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音の重なりを感じ取りながら，好きなパートを選んで，二部合唱の響きを味わう。 <p>曲想表現を工夫し，表情豊かに歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までに工夫した歌い方を意識しながら，より豊かに表現する方法を見付け合う。 ・ グループで二部合唱の練習を仕上げる。 	エ -	B(1)イ			<p>行動観察 歌唱聴取 発言 (グループ) 学習カード</p>
		ウ -	A(3)ア			
		ア -	A(2)ア			
		ア -	A(2)イ			
		イ -	A(2)ア			

